

会員各位

一般社団法人 日本粉体工業技術協会 粉体ハンドリング分科会		
コ ー デ ィ ネ ー タ	京都大学大学院 教授	松坂 修二
副 コ ー デ ィ ネ ー タ	日本大学准教授	河府 賢治
名 誉 コ ー デ ィ ネ ー タ	横浜国立大学名誉教授	松本 幹治
代 表 幹 事	日清エンジニアリング(株)	海老原 裕之
副 代 表 幹 事	(株)マツシマ メジャテック	鍋内 浩
幹 事	アイシン産業(株)	村上 徹
〃	味の素(株)	西ノ宮 武
〃	東洋ハイテック(株)	大和 一敏
〃	東和制電工業(株)	國枝 純
〃	(株)徳寿工作所	坪内 稔
〃	(株)ノーケン	倉本 拓司
〃	丸尾カルシウム(株)	森下 俊哉
〃	ユーラステクノ(株)	鈴木 司

2020年度第1回(通算184回)粉体ハンドリング分科会開催のご案内 《 テーマ『供給と排出』 国際粉体工業展東京2020と併催 》

拝啓

貴社益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当協会にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、国際粉体工業展東京2020の併催イベント『粉体機器ガイダンス』としまして、当分科会の企画による『供給と排出』をテーマとした講演と粉体機器メーカーによる製品紹介プレゼンテーションを開催することとなりました。本講演会では、『微粒子に対応できる粉体ハンドリング技術の最新情報』と『供給機と排出機の種類と特徴』についての講演の後、粉体機器メーカー3社より、供給に係わる製品を紹介するプレゼンテーションを予定しております。皆様お誘いあわせの上是非ご参加ください。

なお、今回の分科会は、会員外の方でも国際粉体工業展にご来場の方であればお気軽にご参加いただけますので、ご関係の企業様等への参加の働きかけもお願い出来ましたら幸いです。

本講演会は聴講無料、事前登録制となっております。参加ご希望の方は一般社団法人日本粉体工業技術協会ホームページ内の『国際粉体工業展東京2020』公式サイトより直接お申し込みください。お申し込み受付後、聴講券をメールにて送信いたします。

敬具

記

1. 日 時 : 2020年11月18日(水) 10:00~12:00
2. 場 所 : 東京ビッグサイト 南ホール 展示会場内 〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1
3. 申込先 : 国際粉体工業展東京2020 公式サイト <https://www.powtex.com/tokyo/visit/event.html>
(お申し込みの受付開始は10月中旬以降を予定しております)
4. 参加費 : 無料
5. 次 第

10:00~10:30 講演① 『微粒子に対応できる粉体ハンドリング技術の最新情報』

粉体ハンドリング分科会 コーディネータ 京都大学 大学院教授 松坂 修二

微粒化の長所は、使用する粉体の量を減らして表面を効果的に活用できることにある。しかし、粒子径の減少と共に付着性が強くなり、流動性が低下するので、粉体ハンドリングは著しく難しくなる。微粒子の特性を考慮しながら、粉体の操作性を改善するために必要な技術の動向及び最新情報を紹介する。

10:30~11:00 講演② 『供給機と排出機の種類と特徴』

粉体ハンドリング分科会 代表幹事日清エンジニアリング株式会社 営業部大阪営業所長 海老原 裕之

貯槽から粉体を安定的に引き出す排出機と、排出した粉体を次の工程に受け渡す供給機には様々な方式があり、安定的な粉体プロセスを構築するには、これら粉体ハンドリング機器を適切に選定する必要があります。一般

的な供給機、排出機の選定方法を交えながら、それぞれの種類と特徴について紹介します。

- 11:00~11:20 製品紹介①『供給能力 1:200 可変、高精度バッチ供給機 ドージングバルブの紹介』
 アイシン産業株式会社 営業技術本部東京営業部 担当部長 佐々 勝彦氏
 微小供給を可能にする“ドージングバルブ”についてご紹介いたします。このドージングバルブを使用することにより、原料によっては、±1gの制御が可能です。微粉原料から塊状原料まで様々な性状の計量供給が可能です。
- 11:20~11:40 製品紹介②『供給機のラインナップ ~供給原理と特徴~』
 赤武エンジニアリング株式会社 経営企画室 室長 赤堀 芳太郎氏
 当社は、粉体性状や要求条件に応じるため、異なる供給原理の供給機をラインナップしております。今回は、回転盤の容積マスで供給量を制御する容積式フィーダ、コーンバルブの昇降ストロークで供給量を制御するコーンバルブ型フィーダ、弁体開度と弁体振動で供給量を制御する弁体振動式フィーダについて、それぞれの原理や特徴などを、動画も交えてご紹介いたします。
- 11:40~12:00 製品紹介③『連続式粉体用流量計と流量計付き供給機』
 三協パイオテック株式会社 技術部部长 高橋 宗氏
 流量計を用いて供給・排出量を把握することで様々なことに応用することが出来ます、そこで、当社の衝撃式粉体用流量計と供給機の一例として流量計一体型供給機の紹介をさせていただきます。

会場案内図

